

# 高齢運転者のための サポートブック





# 目次

- I. はじめに
- II. 交通事故統計
- III. 認知機能の低下について
- IV. 運転免許証の自主返納制度
- V. あなたを守る最新の自動車技術
- VI. 長く運転するための「補償運転」
- VII. これからのために



1. はじめに



# 今回の活動に至った経緯

日本における交通事故発生件数、死傷者数は年々減少傾向にあります。

しかし、75歳以上の高齢運転者に注目すると死亡事故件数は横ばい状況であり、75歳以上の運転免許保有者数が今後更に増加していくことが見込まれる中、高齢運転者に対する何らかの対応が必要である状況にあります。

このような背景のもと平成29年3月に改正道路交通法が施行され、75歳以上の高齢運転者対策の充実が図られました。

しかしながら、それ以前に運転者自身やその周りの家族が認知機能や運動機能の低下などに気付き、安全確保のために何らかの適切な対応をすることが重要です。

本研究では、高齢運転者の交通事故防止と今後の運転のあり方を見直す機会の創出を目的として、電子書籍とWebサイト、広報用チラシの制作を行いました。

※なお本研究で対象としているデータは平成30年時点のものです。

# この本の使い方



**右から左**へスライドさせると**次のページ**へ移ります。



**左から右**へスライドさせると**前のページ**へ戻ります。

もっと見る

このマークのボタンを押すと**外部のリンク先**へ移動します。

# 認知機能チェック

まずは認知機能をチェックしてみましょう。（簡易版、詳細版どちらでチェックしても構いません。）

いくつチェックがつくか自分で数えてみましょう！



## 簡易版（所要時間：2分程度）

- 車のキーや免許証などを探し回ることが増えた
- 右左折する際にウィンカーを出し忘れることが増えた
- いつも行っている場所への道順がすぐに思い出せないことが増えた
- 車庫入力で壁やフェンスに車体をこすることが増えた
- 駐車スペースに合わせて車を止めることが難しくなった
- 急発進、急ブレーキ、急ハンドルなど運転が荒くなった
- 車の汚れが気にならず、あまり洗車しなくなった
- 洗車道具などをきれいに整理しなくなった
- 好きだったドライブに行く回数が減った
- 同乗者との会話をしながらの運転がしづらくなった

チェックが3つ以上ついた方は運転適性相談を受けてみましょう。





## 詳細版（所要時間：5分程度）

車のキーや免許証などを探し回ることがある

今までできていたカーステレオやカーナビの操作ができなくなった

トリップメーターの戻し方や時計の合わせ方がわからなくなった

機械や装置（アクセル、ブレーキ、ウィンカーなど）の名前を思い出せないことがある

道路標識の意味が思い出せないことがある

スーパーなどの駐車場で自分の車を停めた位置が分からなくなる

何度も行っている場所への道順がすぐに思い出せないことがある

運転している途中で行き先を忘れてしまったことがある

良く通る道なのに曲がる場所を間違えることがある

車で出かけたのに他の交通手段で帰ってきたことがある

運転中にバックミラー（ルーム、サイド）をあまり見なくなった

アクセルとブレーキを間違えることがある

曲がる際にウィンカーを出し忘れることがある

反対車線を走ってしまった（走りそうになった）

右折時に対向車の速度と距離の感覚がつかみにくくなった

気がつくと自分が先頭を走っていて、後ろに車列が連なっていることがよくある

車間距離を一定に保つことが苦手になった

高速道路を利用することが怖く（苦手に）なった

合流が怖く（苦手に）なった

車庫入力で壁やフェンスに車体をこすることが増えた

駐車場所のラインや、枠内に合わせて車を停めることが難しくなった

日時を間違えて目的地に行くことが多くなった

急発進や急ブレーキ、急ハンドルなど、運転が荒くなった（と言われるようになった）

交差点での右左折時に歩行者や自転車が急に現れて驚くことが多くなった

運転している時にミスしたり危険な目にあったりすると頭の中が真っ白になる

好きだったドライブに行く回数が減った

同乗者と会話しながらの運転がしづらくなった

以前ほど車の汚れが気にならず、あまり洗車をしなくなった

運転自体に興味がなくなった

運転すると妙に疲れるようになった



チェックが5つ以上ついた方は要注意です。  
専門医や専門機関の受診を検討してみるのも良いでしょう。

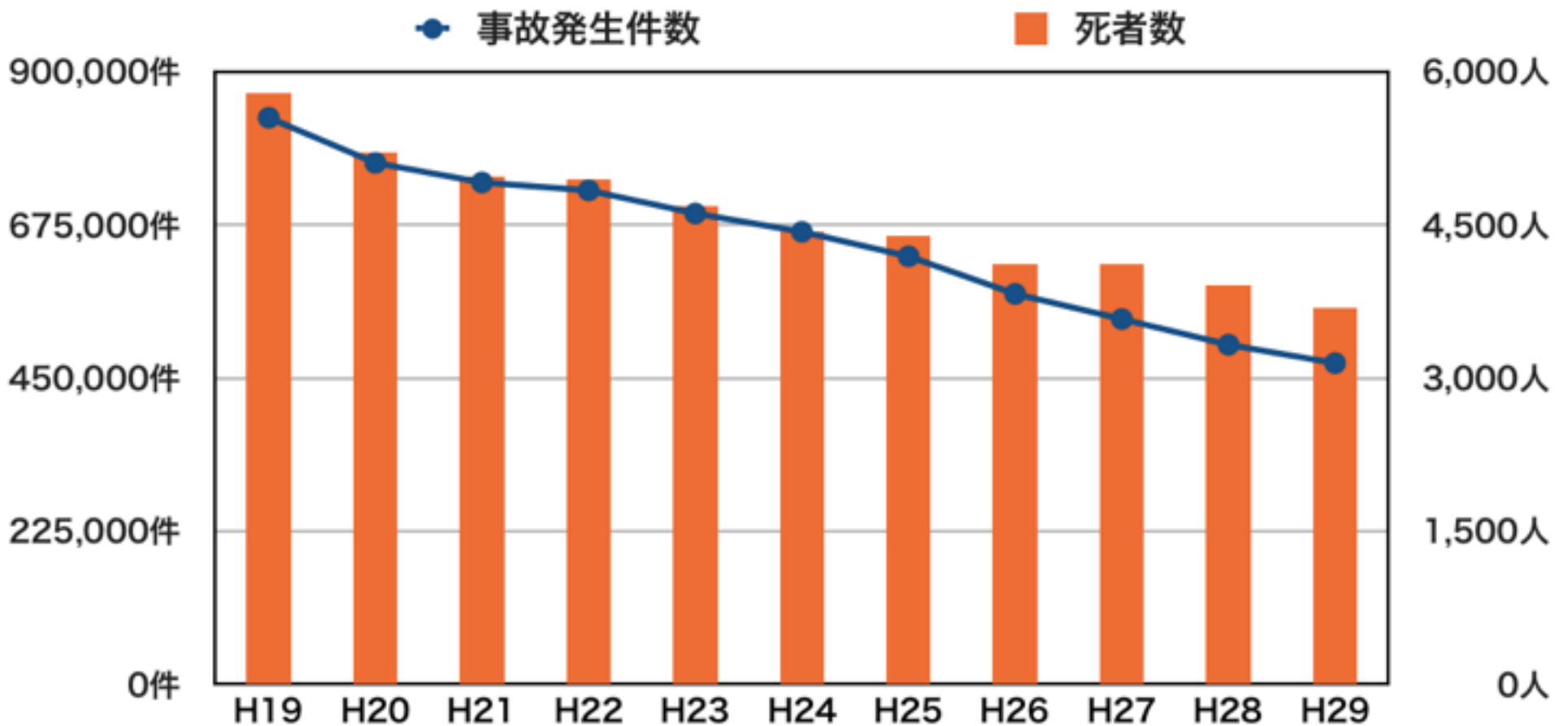




# II. 交 通 事 故 統 計



# 過去10年の全国の事故発生状況



※もっと詳しい統計を見たい方は  
こちらを押してください→

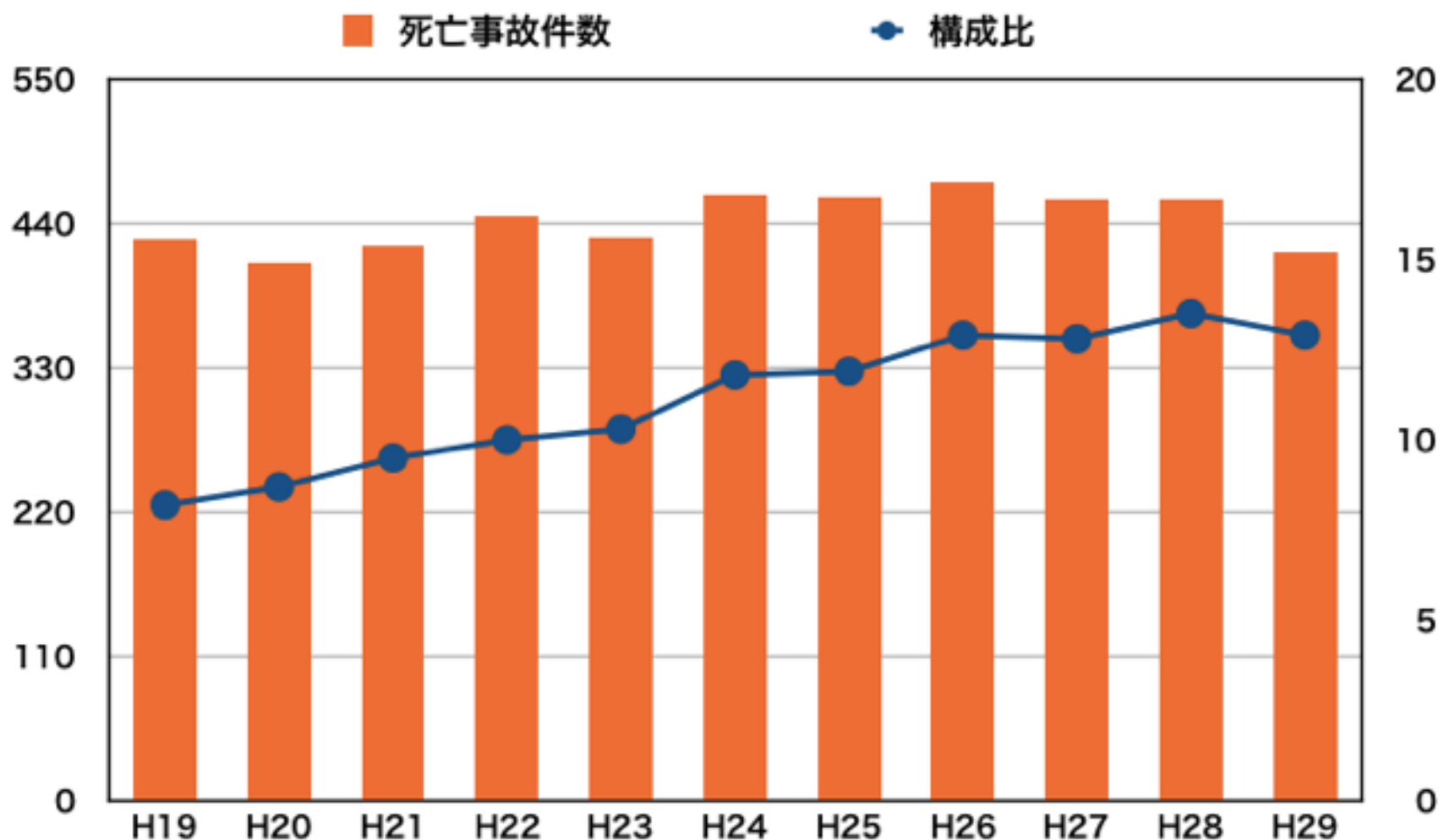
もっと見る

上記の統計から、日本における交通事故の発生件数や、死者数の数は**減少傾向**にあることが分かります。

では高齢運転者に着目して統計を見てみるとどの様になっているのでしょうか？

チェックして見ましょう。

# 75歳以上の高齢運転者による死亡事故件数（全国）



件数は**横ばい**、構成比は**増加傾向**にあることが分かります。



## チョット注目。

【交通事故死者数に占める高齢者（65歳以上）の割合】

H19	H20	H21	...	H27	H28	H29
47.4	48.4	49.9		54.6	<b>54.8%</b>	54.7

H28は全死者に占める高齢者の割合が54.8%と、**過去最高**となっています。またいずれの年も約5割と高い割合を占めています。つまり、**高齢者が事故により死亡するリスクは高い**ことを意味します。

# 高齢運転者の特徴

これまでは、交通事故統計を見て交通事故発生件数等は減少傾向にあるものの、高齢運転者による死亡事故件数は横ばい状況であることなどについてグラフで見えてきました。では、実際に高齢運転者が事故を引き起こしてしまう原因や運転特性とは一体何なののでしょうか？



## 高齢運転者が事故を引き起こす一般的な要因



疲労時の  
回復力の低下



注意力の配分や  
集中力の低下



柔軟、瞬間的な  
判断力の低下



## 高齢運転者に多い事故

- ・ 出会い頭事故、追突事故
- ・ 右折時の事故
- ・ 買い物、通院等での事故
- ・ 一時不停止や信号無視、安全運転義務違反を伴うもの



## 高齢運転者に多い運転特性

- ・ 信号機や標識の見落とし
- ・ 「相手が止まってくれるだろう」という判断の甘さ
- ・ 危険に直面してもアクセルから足を離すのが遅れる
- ・ 相手を発見しておきながら、ブレーキを踏まない



## チョット注目。

### 【高齢運転者が運転をする上での留意点】

#### ◆追突事故を防ぐには

- ・ 車間距離を十分にとり、前をよく見て運転して、運転中に考え事をしない

#### ◆出会い頭の事故を防ぐには

- ・ 車や人の動きなど多くの点に注意する

#### ◆交差点を通行するとき

- ・ 右折時は対向直進の二輪車、自転車や歩行者との事故、左折時は歩行者や自転車の巻き込み事故に注意する

#### ◆運転の前に

- ・ 体調の確認を行う
- ・ なるべく同乗者を伴った運転を行う

# 実際の交通事故事例

H28年11月、普通乗用車を運転する80歳代の男性が、栃木県下野市内の病院の駐車場においてブレーキペダルと間違えてアクセルペダルを踏み込んだことにより車両を暴走させ、ベンチに座っていた女性及び建物の支柱等に衝突した結果、女性1名が死亡し、女性2名が重軽傷を負った。



## 実際の現場の写真




練習問題 1

高齢運転者の交通事故要因としてあげられるものは次のうちどれでしょう。

- A.** 柔軟な判断力の低下
- B.** 慎重で、ゆっくりとした速度での運転
- C.** ブレーキを必要以上に踏む

 が出たら正解です

 が出たら不正解です

答えを確認



Ⅲ. 認 知 機 能 の  
低 下 に つ い て





# 認知機能検査とは何か

運転免許証の更新期間が満了する日の年齢が75歳以上のドライバーは高齢者講習の前に認知機能検査を受けなければなりません。

一体、認知機能検査とはどのようなもので何をするのでしょうか？



## 認知機能検査とは

記憶力や判断力を測定する検査で、<sup>けんとうしき</sup>時間の見当識や手がかり再生、時計描画という3つの検査項目について約30分かけて行うものです。

## 検査項目



<sup>けんとうしき</sup>**時間の見当識**：検査時における年月日、曜日及び時間を回答するもの。



**手がかり再生**：一定のイラストを記憶し、採点には関係しない課題を行なった後、記憶しているイラストをヒント無しに回答し、さらにヒントをもとに回答するもの。



<sup>びょうが</sup>**時計描画**：時計の文字盤を描き、さらにその文字盤に指定された時刻を表す針を描くもの。

# 改正道路交通法について

認知機能の低下が高齢運転者による交通事故に相当程度影響を及ぼしていると考えられることから、高齢運転者による交通事故を防止するために、H29年3月から認知症などに対する対策が強化されました。



## 臨時認知機能検査・臨時高齢者講習の新設

**臨時認知機能検査**：75歳以上の運転者が認知機能が低下した時に起こしやすい一定の違反行為をした際に受けなくてはなりません。



**臨時高齢者講習**：臨時認知機能検査を受け、認知機能の低下が運転に影響するおそれがあると判断された高齢者は受けなくてはなりません。



## 臨時適性検査制度の見直し

更新時の認知機能検査や臨時認知機能検査で「認知症のおそれがある」と判定された方は、「臨時適性検査」（医師の診断）を受け、または命令に従い、主治医等の診断書を提出しなければなりません。



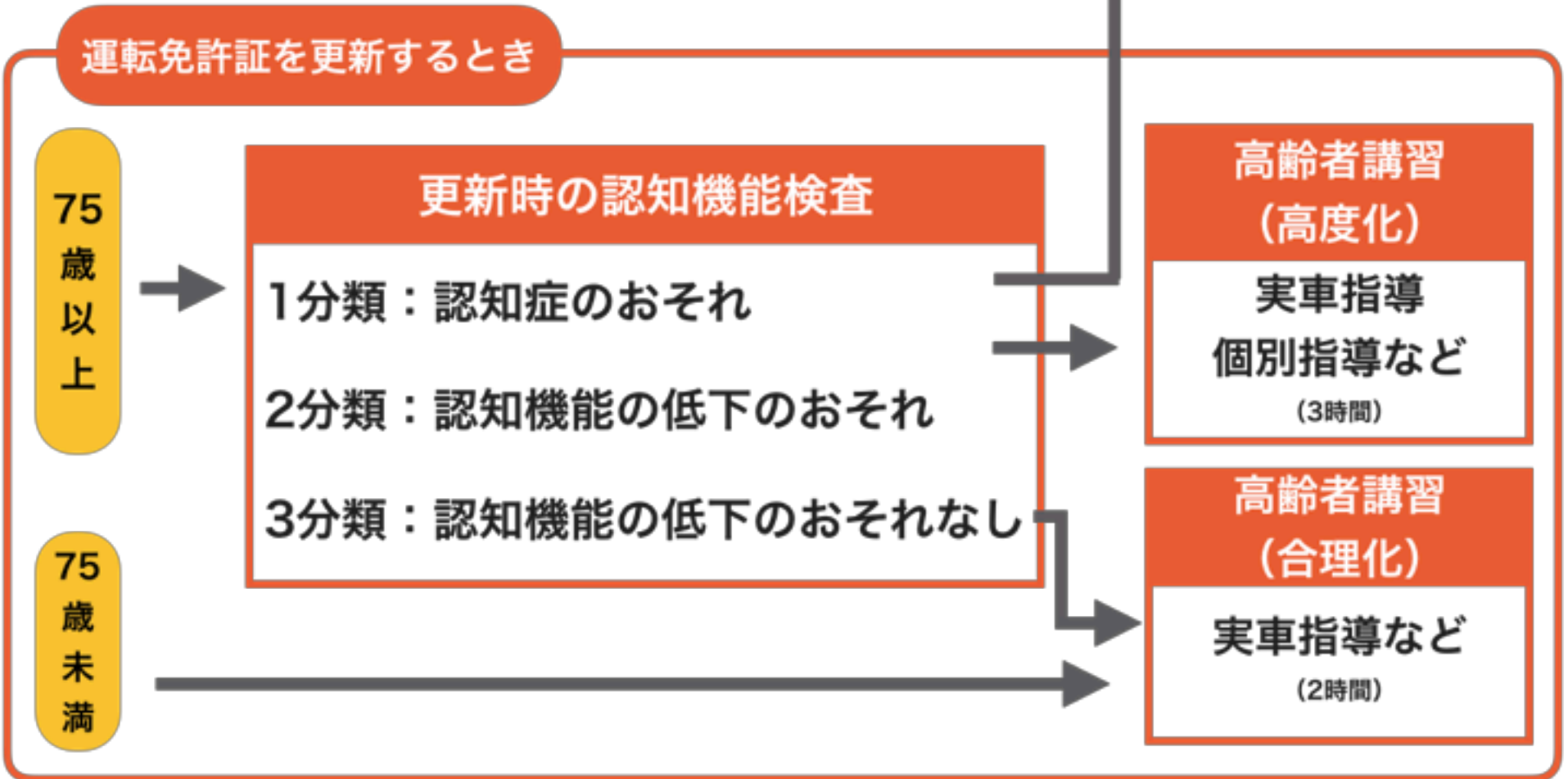
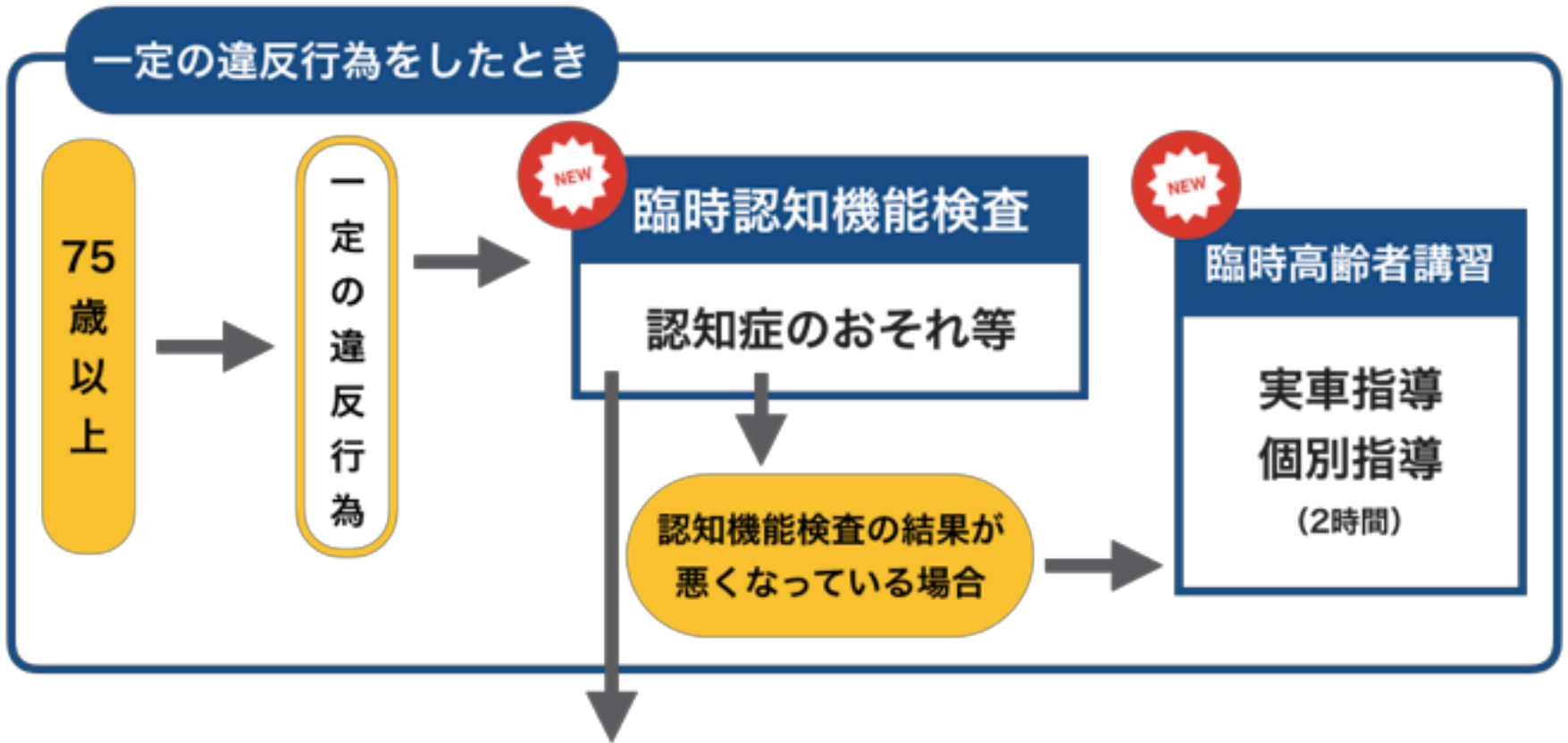
## 高齢者講習の合理化・高度化

75歳未満の方については2時間に短縮されました。また、75歳以上の方は、認知機能検査の結果に基づいて高度化または合理化が図られた講習が実施されます。





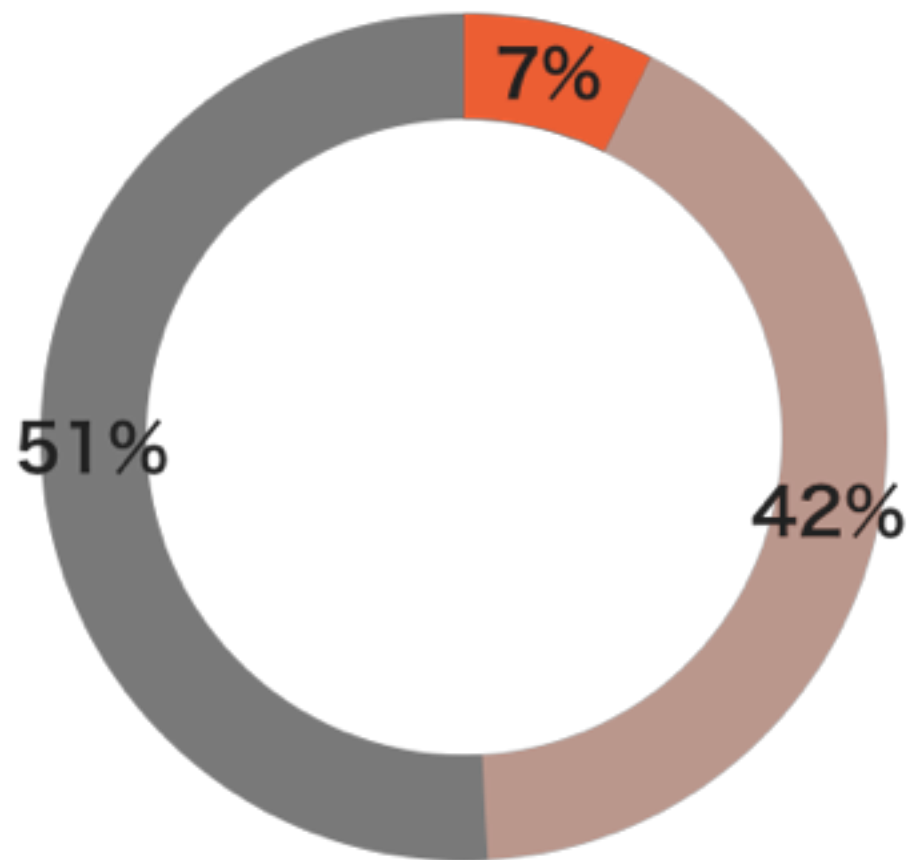
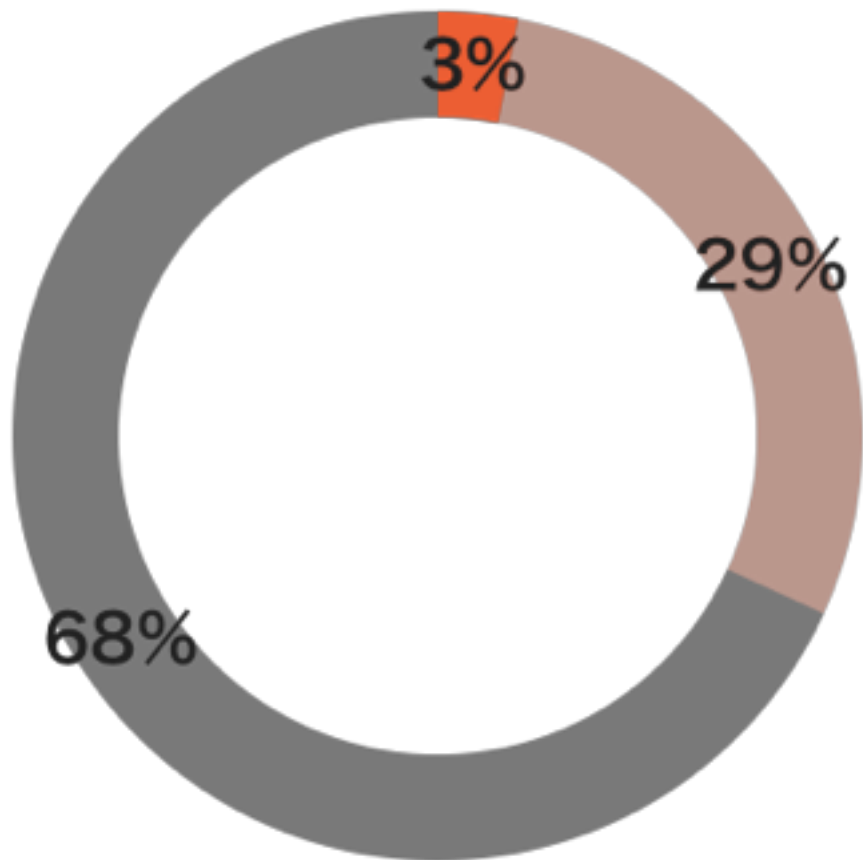
# 主な流れ



# 75歳以上高齢運転者の 認知機能検査結果

【全受検者（H27～H29）】

【死亡事故を起こした運転者（H29）】



● 認知症のおそれのある人    ● 認知機能の低下のおそれのある人    ● 認知機能の低下のおそれのない人


死亡事故を起こした75歳以上の高齢運転者は、認知症のおそれのある人または認知機能の低下のおそれのある人であった割合が約5割と高いことがわかります。


つまり、認知機能の低下が死亡事故の発生に影響を及ぼしていることが推察されます。

練習問題 2

認知機能と運転の関係として正しいものは次のうちでどれでしょう。

- A. 認知機能の低下は運転に大きな影響を与えない
- B. 死亡事故を起こした75歳以上の運転者の約半数が認知機能の低下の恐れがある
- C. 認知機能が低下したとしても法的な措置は取られていない

 が出たら正解です

 が出たら不正解です

答えを確認



# IV. 運 転 免 許 証 の 自 主 返 納 制 度



# 自主返納制度とは

高齢運転者の交通事故を防止する取り組みの一つとして、運転免許証の自主返納制度があります。

一体どのようなもののでしょうか？



## 自主返納制度とは

運転に不安に感じるようになった高齢運転者の方などが自主的に運転免許証を返納することができる制度です。



## 返納に必要なもの

- ・ 申請者本人の有効な運転免許証
- ・ 印鑑



## 運転経歴証明書とは

運転免許証を自主返納した日前の5年間の自動車などの運転に関する経歴について、免許証の種類や、優良運転者、一般運転者又は違反運転者等の区分などを表示するカードです。

※もっと詳しい情報を見たい方は  
こちらを押してください→

もっと見る

# 自主返納による特典

自主返納をすることによって、様々なサービスを利用できるようになるなど、多くの特典があります。

## バス・電車事業者によるサポート

県内全域



【産交バス】 【熊本電気鉄道】 【熊本バス】 【熊本都市バス】 【熊本市交通局】

割引路線

熊本県内全域の一般路線バス、熊本電気鉄道と熊本市交通局が運行している電車

割引運賃

普通旅客運賃の半額（10円未満切り上げ）

※高速バス等各事業者が指定するバス、電車は利用不可。

有効期限

「免許返納者割引乗車証」の取得から2年間。（更新可）

利用方法

バス、電車降車時に「免許返納者割引証」を提示。



## タクシー事業者によるサポート



### 熊本市

【熊本第一交通】 【昭和タクシー】 【肥後第一交通】

- ・ 65歳以上の方を対象に運賃**1割引**

### 山鹿市

【肥後第一交通】

- ・ 65歳以上の方を対象に運賃**1割引**

### 玉名郡市

【岱洋タクシー】 【高瀬合同タクシー】 【玉名タクシー】

- ・ 年齢制限なしに運賃**1割引**

## 各地区の交通安全協会によるサポート



### 御船

- ・ 65歳以上の方を対象に次のうち1つを贈呈

- (1) ビール350cc 6缶
- (2) ノンアルコールビール350cc 24本
- (3) お茶ペットボトル 24本

## その他のサポート

### 【ウェルネススクエアー「和楽」】

- ・温泉浴場利用料、食事、トレーニング室利用の割引

### 【サカイ引越センター】

- ・引越料金の基本料金（運賃・人件費）20%割引

### 【ブルームヒアリング】

- ・補聴器料金10,000円割引

これらは、サービスの一部です。

※もっと詳しい情報を見たい方は  
こちらを押してください→

もっと見る

自主返納によって、交通手段の確保が難しくなってしまう  
方のために以下のようなサービスもあります。



チョット注目。



# タクシニア

タクシニアとは、**運転免許返納者**向けの**運賃割引タクシー**配車アプリです。

## 【利用すべきおすすめポイント！】

- ・ 高齢者でも扱いやすいシンプルなアプリ
- ・ タクシーを呼ぶ際に現在地の説明が不要
- ・ 割引運賃による安価な代替交通手段の確保

※現在はタクシーを呼ぶ際に、熊本市南区にいる方のみ利用出来ます。

※もっとタクシニアについて  
知りたい方はこちらを  
押してください→

もっと見る



V. あなたを守る  
最新の自動車技術



# サポカー、サポカーSとは

交通事故の発生防止と被害軽減のために、先進安全技術を利用して運転者の安全運転を支援するシステムを搭載した自動車の開発と普及啓発が進んでいます。

その最新技術が搭載された自動車とは一体どのようなものでしょうか？

サポカー、サポカーSとは、高齢運転者を含めたドライバーによる**交通事故の発生防止・被害軽減対策**の一環として国が推奨する**新しい自動車安全コンセプト**のことです。



## 【セーフティ・サポートカー】

自動ブレーキを搭載した自動車



## 【セーフティ・サポートカーS】

自動ブレーキに加え、ペダル踏み間違い時加速抑制装置等を搭載した自動車

高齢者推奨





## 先進安全技術とは

### ①自動ブレーキ（対車両・対歩行者）



危険を予測し衝突を回避、  
または被害を軽減します。

### ②ペダル踏み間違い時加速抑制装置



駐車スペースから出る時などの、  
誤作動による急発進を防ぎます。

### ③車線逸脱警報



車線を検知して、はみ出しを  
警報します。

### ④先進ライト



ヘッドライトを自動で切り替え、  
夜間の歩行者などの早期発見に貢  
献します。

※もっとサポカーについて  
知りたい方はこちらを  
押してください→

もっと見る

サポカーはあくまで運転者を支援するものであり、事故を完全に防ぐことの出来るものではありません。

一人一人がゆとりを持ち、安全運転に努めることが一番の事故防止に繋がる手段となります。



VI. 長 く 運 転 す る た め の  
「 補 償 運 転 」





人は誰もが年齢を重ねるごとに「身体能力」が低下してきます。

身体能力の低下は自動車の運転にも大きな影響を及ぼしますので、いつかは運転を止めなければならない日がくるかもしれませんが、できるだけ長く運転するために「補償運転」を心がけましょう。



## 補償運転とは

危険を避けるため、運転する時と場所を選択し、運転能力が発揮できるように心身及び環境を整え、加齢に伴う運転技能の低下を補うような運転方法をとることです。

例えば、

- ・ 体調が悪い時は運転を控える
- ・ 夜間の運転を控える
- ・ 雨の日の運転を控える
- ・ 長距離の運転を控える
- ・ 以前よりスピードを出さない運転をする



など、これまでよりも少しだけ気を配り、余裕を持って運転をすれば良いのです。

ちょっとした工夫や気配りをするなど、運転を続けるには自分なりの努力や工夫も必要です。

「自分は運転がうまいから大丈夫」という考えは交通事故の危険性を増加させます。

「補償運転」を心がけ、事故防止に努めましょう。



VII. これからの  
ために



高齢者による交通事故を防止するために、サポカー、サポカーSの使用や運転免許証の自主返納などの方法があります。なかでも交通手段を確保しにくくなってしまった返納者には、家族による支えもとても重要なものとなります。

これから家族が安全に運転と向き合うことの出来るように、お互いを見つめ直してみませんか？



## チョット注目。

【家族が今からできること】

- ◆**先進安全技術を備えた自動車の利用**を検討する
- ◆なるべく複雑な道を通らずに済むような**ルートの見直し**をする
- ◆体調を確認し、持病や服薬の状況によって**運転を控えるように促す**
- ◆定期的に**運転時認知障害早期発見チェックリスト30**の活用をする

※チェックリストをダウンロードしたい方はこちらを押してください→

もっと見る

◆自主返納を促し、それによって受けられるサービスの活用を勧める

◆免許センターや警察署など相談窓口の利用

◆返納後の交通手段の確保について一緒に話し合う

高齢運転者と家族がお互いを尊重しあい、  
交通事故のない、安全で快適な車社会を目指しましょう。






## 参考にしたサイト

- [1]熊本県警察のホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/police/Default.aspx> (参照2018-8-8)
- [2]警察庁交通局 <http://www.npa.go.jp/toukei/koutuu48/H29siboubunnseki.pdf> (参照2018-8-8)
- [3]自動車安全運転センター “わかる 身につく 交通教本” (参照2018-8-4)
- [4]内閣府 [http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/h29kou\\_haku/pdf/zenbun/h28-00-special-01.pdf](http://www8.cao.go.jp/koutu/taisaku/h29kou_haku/pdf/zenbun/h28-00-special-01.pdf) (参照2018-9-15)
- [5]警察庁のホームページ <https://www.npa.go.jp/index.html> (参照2018-9-15)
- [6]熊本県庁のホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/Default.aspx> (参照2018-9-22)
- [7]飯村研究室アプリ開発部 <http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~iimulab/taxinia/index.html> (参照2018-9-26)
- [8]経済産業省 <https://www.safety-support-car.go.jp> (参照2018-8-11)
- [9]パピマミ <https://papimami.jp/101644/> (参照2018-9-3)
- [10]警視庁のホームページ <http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/index.html> (参照2018-8-26)
- [11]特定非営利活動法人高齢者安全運転支援研究会 <http://sdsd.jp/untenjiniunchisyougai/checklist30/> (参照2018-9-5)
- [12]新潟県県民生活課交通安全対策室  
<http://www.pref.niigata.lg.jp/kenminseikatsu/1356885043301.html> (参照2018-11-16)
- [13]警察庁第2回 高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議配布資料一覧 資料6  
<https://www.npa.go.jp/koutsuu/kikaku/koureiuntan/kaigi/2/shiryo/shiryo-6.pdf> (参照2018-11-16)



## 素材

- [1]icooon-mono <http://icooon-mono.com> (参照2018-9-27)
- [2]いらすとや <https://www.irasutoya.com> (参照2018-8-20)



## 高齢運転者のためのサポートブック

---

発行／2018年12月

発行所／熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科 飯村研究室

編集者／熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科

飯村研究室（知能情報学研究室） 松田 美季

監修／熊本県警察本部 交通部 交通企画課, 飯村 伊智郎

問い合わせ [iiimura@pu-kumamoto.ac.jp](mailto:iiimura@pu-kumamoto.ac.jp)

熊本県立大学 総合管理学部 総合管理学科

飯村 伊智郎

---

Webサイト「高齢運転者のためのサポートブック」

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~iimulab/car/>